Ａリーグ部会員の皆様、香川県ＤＳＣ会長の生西敏文（いくにし としふみ）と申します。

各府県ＤＳＣ会長の手紙が広報に掲載されるようになり、ついに愛媛、徳島に続き、香川県の番になりました。本県も現在は、あまり活動をしていないので何を書けば良いのか、悩んでいますが、まずは、私のお詫びから筆を進めていきたいと思います。

皆さんは、Ａリーグ部に所属していますが、Ａリーグ部会議なるものが、毎月１回（奇数月は土曜日の午前中、偶数月は平日の夜）Ａリーグ部事務所にて開かれているのをご存知でしょうか？

この会議にはＡリーグ部役員と府県ＤＳＣ長が出席することになっていますが、私自身、この会議に出席したのは香川県ＤＳＣ会長になった当初（２００８年（Ｈ２０年））の２回のみと記憶しています。香川県ＤＳＣの代表としての責務が果たせず、非常に心苦しく思っています。

Ａリーグ部役員の方々をはじめ、他府県ＤＳＣ会長の皆様、そして、何よりも香川県ＤＳＣ会員の皆様に、この紙面をお借りして深くお詫び申し上げます。

さて、香川県ＤＳＣの活動についてですが、御多分にもれず、当県も２００５年（Ｈ１７年）頃までは有名無実のような状態でした。ところが、２００６年（Ｈ１８年）に入り、当時のＤＳＣ会長（松本良一氏）の「香川県に連盟を立ち上げ、ＪＤＳＦに加盟しよう。」との呼びかけにより、ＤＳＣの活動が始まりました。ＤＳＣと２～３のサークルが中心となり、連盟を発足させ、ＪＤＳＦへの加盟準備を行い、申請の結果、２００８年（Ｈ２０年）６月にＪＤＳＦより仮加盟の認可をいただき、翌年、正加盟となりました。

当時は、連盟会員を増やしたり、会員の技術のレベルアップの一助になればと思い、練習会や講習会なども行ないました。しかしながら、ここ数年は、ＤＳＣ役員の逝去やカップル解消等が有ったりして、練習会や講習会はできていません。

唯一の活動は、連盟に非加盟の２サークルが３年前から秋に行っている「東日本大震災支援チャリティパーティ」に協力していることです。このパーティの収益金は、全て「あしなが育英会」に寄付し、震災孤児のために役立ててもらっています。例年は日曜・祝祭日に行なっていましたが、昨年は会場が取れず、土曜日の開催となり、入場者数が気になりましたが、３００人を超え、一昨年を上回り、スタッフ一同が安堵しました。

香川県ＤＳＣとしては、今後もこのチャリティパーティに協力したいと思っています。

話は、変わりますが、会長としてＤＳＣの活動に際して困っていることが１つあります。それは何かと申しますと、現時点での会員（人数や氏名）が把握できていないことです。ＤＳＣ総会の前に総会開催案内用に事務局に名簿の送付をお願いし、その名簿を見て、初めて香川県ＤＳＣ会員を知るという状況です。個人情報保護の絡みもあり、常に会員を把握することはできないのでしょうか？

これは個人的な意見ですが、ノービスからＤ級に昇級し、Ａリーグ部から登録手続きを行なうと、自動的に府県ＤＳＣの会員になる（される）現状においては、選手自身もＤＳＣに所属している認識が薄いかも知れません。選手の自覚を促し、ＤＳＣの活動に参加していただくためにも、Ａリーグ部に登録手続きを行なう時点で、ＤＳＣにも入会手続きをする等のシステムがあれば、即会員が把握でき、行事の案内もできるので、良いのではないかと思います。

以上、取り留めの無い内容になりましたが、この辺りで筆を置きたいと思います。

時節柄、ご自愛下さい。